

おわりに

都市農村交流の新たな取組の方向としてグリーン・ツーリズムが打ち出されて20年が経過しました。その間、これまでみてきたように九州のグリーン・ツーリズム活動は、全国の先駆的役割を果たしてきました。この過程は農林漁家が自分たちの地域や生活を見つめ直し、自信を回復する過程でもあったといえるでしょう。

九州の農林漁家民泊は個人客型から始まり、最近では教育旅行等の団体客受入れが主流となってきています。この傾向は、新幹線の開通によりさらに加速されそうな勢いです。団体客の受入れのためには、民泊を受け入れる農林漁家や農林漁業体験を受け入れる農林漁家の確保など地域ぐるみでの取組が必要になってきます。したがって、持続的で一定規模の団体客の受入れが可能な体制を確立した地域では有効な地域活性化策になっていますし、これから取り組もうとしている地域にとっても同様の可能性をもった施策といえます。

また、都市農村交流は、農山漁村の自然や気候、風土に根ざした農林水産業の生産活動及び農林漁家の暮らし方そのものが都市部の方の共感を得て成立するものです。ある意味、都市生活者の日常と落差の大きいものほど驚きと感動を与え価値が高いとも言えます。こうしたことを踏まえると、都市農村交流に取り組む地域においては、“田舎力（田舎の魅力）”が残っている地域ほど有利といえ、“田舎力”として残していくものと、快適な生活をするために変えていくものと良く吟味して生産活動や地域作りに取り組むことが肝要となります。

“田舎力”には、自然、景観、特産品、郷土料理、農林水産業の生産活動、慣習、伝統文化そして人情など色々の要素があります。農産物直売所、農家レストランでは、特産品や郷土料理が重要な要素になっていますし、農林漁家民泊では、利用者も実践者も人との「ふれあい」、「つながり」を重視しています。少人数で家庭的な雰囲気や田舎の人情味をもってお付き合いできるのは、一般旅館と違う農林漁家民泊の特徴です。都市農村交流事業の実施にあたっては、こうした“田舎力”を生かした取組が、持続可能で発展的な都市農村交流活動につながるものと考えます。

九州農政局では、地域をみがき、人材を育成し、魅力を伝え、そしてパートナーとつながることによって都市農村交流が有効な地域活性化施策となるよう引き続き取り組んでまいります。

【参考資料】

I 「都市と農村の交流」の支援施策

1 我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画

近年、農村地域は、農業所得の減少、担い手不足の深刻化、これらに伴う活力の低下など厳しい状況に直面している一方、都市地域においては、「ゆとり」や「やすらぎ」等を与える農山漁村との交流に対するニーズが高まっているところ です。

このような中、23年10月に決定された「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」（食と農林漁業の再生推進本部決定）においては、「消費者との絆の強化」を図るため、「地域の力が総合的に発揮されるよう、都市住民のライフスタイルを変える市民農園やグリーン・ツーリズムの活用等を推進する」こととされたところ です。

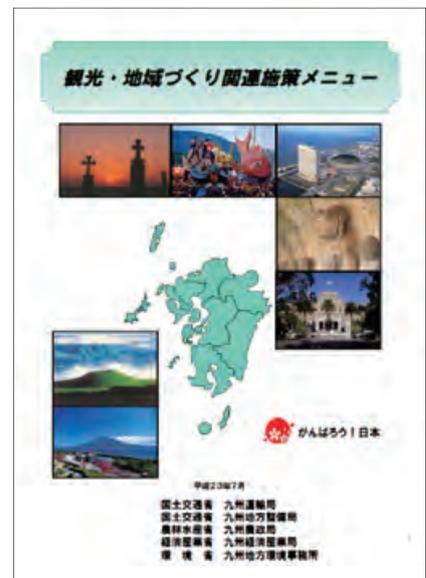
2 都市と農村の交流に関する施策等

グリーン・ツーリズムなど食をはじめとする豊かな地域資源を活かし、創意工夫に富んだ集落ぐるみの都市農村交流等を促進することで農林漁業者の所得向上や集落の維持・再生を図る必要があります。

食と地域の交流促進対策交付金では、創意工夫に富んだ集落ぐるみの都市農村交流等を促進する取組（10のメニュー）に対して、国が交付金を直接交付し支援しています。

また、都市と農村の交流に関連する各省庁の施策が、「観光・地域づくり関連施策メニュー」としてまとめられています（最新版は23年7月現在のもの）。施策メニューに変更があった場合は、随時変更及び更新を行う予定です。

九州運輸局のホームページに、掲載していますので、ご確認ください。（<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file07a.htm>）



II 受入モデル地域（協議会）の設置状況一覧表

子ども農山漁村交流プロジェクト 受入モデル地域 （九州エリア受入地域一覧 平成23年11月現在）

県名	受入モデル地域(協議会)名	窓口組織(事務局)	窓口組織(事務局)住所	連絡先
福岡県	姫治子ども交流推進協議会	うきは市農林・商工観光課	〒839-1414 福岡県うきは市吉井町新治316	0943-75-4986
	朝倉グリーンツーリズム協議会	朝倉市観光協会	〒838-0068 福岡県朝倉市甘木1320	0946-24-6758
佐賀県	伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会	伊万里市観光課	〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1	0955-23-2110
	唐津・玄海体験型旅行受入推進協議会	社団法人 唐津観光協会ATA事業部	〒847-0816 唐津市新興町2935-1 JR唐津駅構内	0955-74-3611
長崎県	一般社団法人まつら党交流公社	一般社団法人 まつら党交流公社	〒859-4501 長崎県松浦市志佐町浦免1808-1	0956-27-9333
	小値賀町長期宿泊体験協議会	NPO法人 おちかアイランドツーリズム協会	〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2791-13 小値賀港ターミナル内	0959-56-2646
	杵岐体験型観光受入協議会	杵岐体験型観光受入協議会	〒811-5135 長崎県杵岐市郷ノ浦町郷ノ浦281-6 郷ノ浦港旅客ターミナル内	0920-47-5355
	西海市ふるさと子ども夢学校受入協議会	NPO法人 西海市観光協会	〒851-3305 長崎県西海市西彼町喰場郷1686-1	0959-37-5833
	南島原ひまわり観光協会	南島原ひまわり観光協会	〒859-2504 長崎県南島原市口之津町丙4252	0957-76-1800
熊本県	御所浦アイランドツーリズム推進協議会	御所浦アイランドツーリズム推進協議会	〒866-0334 熊本県天草市御所浦町牧島219-2	0969-67-1080
	阿蘇子ども農山村交流プロジェクト受入センター	公益財団法人 阿蘇グリーンストック	〒869-2237 熊本県阿蘇市の石1537-1	0967-35-1110
	八代市グリーン・ツーリズム推進協議会	八代よかとこ宣伝隊	〒866-0824熊本県八代市上日置町4772-10 JR新八代駅内	0965-31-8200
大分県	宇佐市ツーリズム推進協議会	NPO法人 安心院町グリーンツーリズム研究会	〒872-0521 大分県宇佐市安心院町下毛1046	0978-44-1158
	佐伯市観光協会佐伯ツーリズム推進協議会	佐伯市観光課	〒876-8585 大分県佐伯市中村南町1-1	0972-22-3942
	G-WEST (大分県西部地区教育旅行受入協議会)	G-WEST事務局 (大分県さかもと村)	〒879-4522 大分県玖珠郡玖珠町大字山下2224 「大分県さかもと村」内	0973-72-1929
	豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会	豊後高田市農林振興課	〒879-0692 大分県豊後高田市御玉114	0978-22-3100 (内線425)
	国東市子ども農村民泊体験協議会	国東市くみにグリーンツーリズム研究会	〒872-1321 大分県国東市国見町竹田津3601-1 竹田津農村環境改善センター内	0978-84-0333
	臼杵市子ども滞在受入協議会	臼杵市まちづくり推進課	〒875-0292 大分県臼杵市野津町大字野津市326-1 臼杵市役所野津庁舎	0974-32-2220 (内線212)
宮崎県	西都市グリーン・ツーリズム研究会	西都市商工観光課グリーン・ツーリズム推進係	〒881-8501 宮崎県西都市聖陵町2-1	0983-43-3421
	諸塚村くぬぎの里ツーリズム推進協議会	一般社団法人 諸塚村観光協会	〒883-1301 宮崎県諸塚村大字家代3068	0982-65-0178
	五ヶ瀬山学校推進協議会	NPO法人 五ヶ瀬自然学校	〒882-1201 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡6452	0982-73-6366
	北きりしま田舎物語推進協議会	北きりしま田舎物語推進協議会事務局	〒886-8501 宮崎県小林市細野300 小林市役所経済部産業振興課内	0984-22-3020
鹿児島県	南九州市グリーンツーリズム協議会	南九州市グリーンツーリズム協議会事務局	〒897-0202 鹿児島県南九州市川辺町清水3882 岩屋公園キャンプ場内	0993-56-5465
	伊佐地域ふるさと夢学校協議会	伊佐地区産業活性化協議会	〒895-2511 鹿児島県伊佐市大口里1888 伊佐市役所大口庁舎	0995-23-5513

Ⅲ 表彰事業等の実績

1 都市と農村の交流に関する主な表彰等（平成23年度）

（1）平成23年度食と地域の「絆」づくり

「食と地域の『絆』づくり」は、国民の「いのち」を支える基礎として、「食」を生み出す農林水産業と、その舞台となる農山漁村の活力を再生するため、地域内外の結び付きによる創意工夫にあふれた地域活性化の取組を、先駆的優良事例として選定し、全国に発信するものです。

23年度は、九州から宮崎県西米良村の小川作小屋村運営協議会、宮崎県みやこのじょうし都城市の都城市高木原土地改良区、鹿児島県うけんそん宇検村の阿室校区活性化対策委員会が選ばれました。



小川作小屋村運営協議会



都城市高木原土地改良区



阿室校区活性化対策委員会

（2）第9回グリーン・ツーリズム大賞

グリーン・ツーリズム大賞は、株式会社毎日新聞社が、日本の将来を探り、農山漁村地域の振興や活性化への貢献を図るため、グリーン・ツーリズムに関する先進的な活動や成功している活動等を顕彰するものであり、農林水産省は後援をしています。

23年度は、九州から長崎県おぢかちちょう小値賀町の株式会社おぢか観光まちづくり公社が大賞を受賞しました。



小値賀の玄関は笛吹郷の港町



古民家レストラン



一棟貸切りの宿「古民家ステイ」

(3) オーライ！ニッポン大賞

農林水産省は、都市と農山漁村の共生・対流推進会議（オーライ！ニッポン会議）と共同で、都市と農山漁村のオーライ（往来）の活性化事例を表彰する都市と農山漁村の共生・対流表彰事業「オーライ！ニッポン大賞」を決定しています。

第9回目となる23年度は、九州から鹿児島県霧島市のNPO法人 霧島食育研究会が審査委員長賞を受賞しました。



霧島食の文化祭風景

レシピ本の紹介

霧島たべもの伝承塾

2 農林漁家民宿おかあさん100選認定者の紹介（九州）

農林漁家民宿おかあさん100選は、農山漁村を舞台に、ゆとりと安らぎを提供し、都市との共生・対流の担い手として期待されている農林漁家民宿について、地域の資源や人材の魅力、安全・安心な滞在の提供など、その品質の維持・向上を図るとともに、イメージや実態を広く国民に理解してもらうため、地域のオピニオンリーダーであり、自身の民宿経営に成功し、地域活性化に寄与している“農林漁家民宿おかあさん”を選定し、紹介するものです。

九州では、22名のおかあさんが選定されています。



「農林漁家民宿おかあさん100選」に認定された九州のおかあさんのみなさん

IV 参考資料等の紹介

1 九州の農村の振興、農業農村整備、都市と農村の交流に関する内容等を紹介しています。ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/index.html>

2 「子ども農山漁村交流プロジェクト」ふるさと生活体験活動専門WEBページアドレス：<http://www.ohrai.jp/kodomo/>

3 オーライ九州（九州の都市農村交流施設マップ）
九州内の主な体験・宿泊・販売・食事・市民農園の施設情報が紹介されています。ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/orai/orai.html>



4 農林漁家民宿おもてなしハンドブック



オーライ！ニッポン会議は、農林漁家民宿おかあさん100選認定者に御協力いただき、農家民宿における安全管理を含めた質の維持向上を図るための農林漁家民宿自己チェックシートテスト調査を実施し、その結果を踏まえて「農林漁家民宿おもてなしハンドブック」を作成しております。

（この冊子は、「オーライ！ニッポン」のサイトのなかでダウンロードすることができます。ホームページアドレス：<http://www.ohrai.jp/library/lowcarbon/jdr02800000dvw43.html>）。

V 「都市と農村の交流」をテーマとしたアンケート調査概要】

本特集編で紹介した「都市と農村の交流」をテーマとした関係者へのアンケート調査の概要は以下のとおりです。

なお、末尾ながら、本アンケートにご協力いただいた各位に対し、厚くお礼申し上げます。

○実施時期：平成23年11月～12月

注1：地方公共団体へのアンケートは平成24年1月～2月

注2：農家民宿等利用者は、アンケートを実施した農家民宿等に宿泊した者で、実施期間中（平成23年11月～平成24年4月）に回答のあった人数を計上。

○調査客体と回答（回答者数/客体数（回答率））

・消費者モニター	169人/187人（90%）
・体験学習（教育旅行等）の実施校	33校/70校（47%）
・体験学習（教育旅行等）の受入協議会	32協議会/39協議会（82%）
・農林水産物直売所利用者	331人
・農林水産物直売所代表者	33人
・「田舎で働き隊」研修生	45人/51人（88%）
・「田舎で働き隊」研修生の受入団体代表者	42人/46人（91%）
・農家民宿等利用者	92人
・農家民宿等実践者	172人/330人（52%）
・地方公共団体（県）	7/7（100%）
（市町村）	170/233（73%）

注：各図の割合は四捨五入しており、合計しても100%にならない場合があります。